



世界が直面する多様な課題に対応するための「リテラシーズ("Literacies")」の重要性

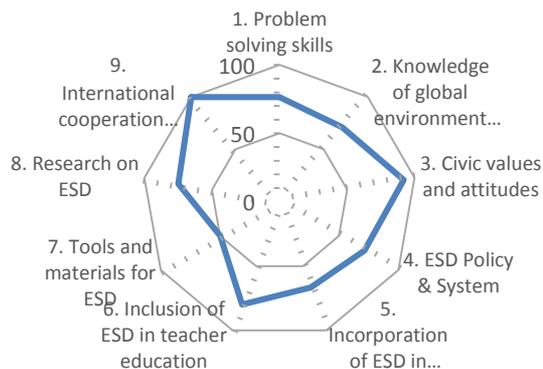
## 教育

1) 「水リテラシー」「健康のリテラシー」に関する具体的開発目標の提示

- 水と教育のネクサス、健康と教育のネクサス (ポリシーブリーフの発行)



2) 持続可能な開発のための教育 (ESD) のモニタリング指標の提案



3) 国内外への発信

- 全国高校生ワークショップ
- 公開シンポジウム
- 東南アジアのYouth Forum
- 日本語・英語での研究成果
- メディアを通じた成果発信



## 持続可能な開発目標： 水と教育のネクサス（water-education nexus）

世界の人々が「水リテラシー」を身につけることにより、安全・安心な水利用及び水環境が整備される

グローバルターゲット1:

識字率を xx%増に改善することで、安全な水の利用者数を xx%増やす。

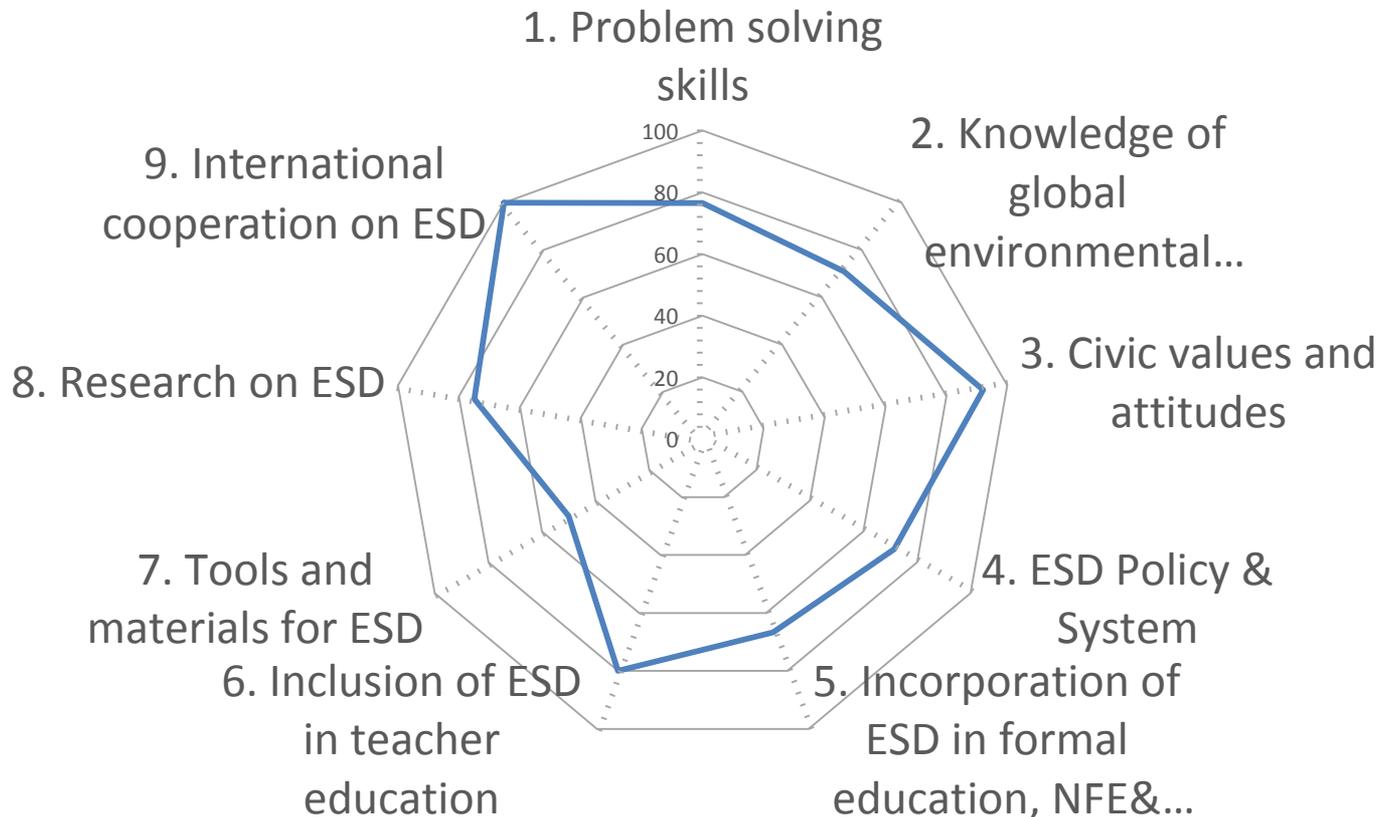
グローバルターゲット2:

すべての人の水リテラシーを向上させることで、水災害の被災規模を縮小する。

グローバルターゲット3:

すべての自治体で関係者の水リテラシーを向上させることで、安全な水の利用の確保や持続可能な利水・灌漑施設の設置などの実践を促進する。

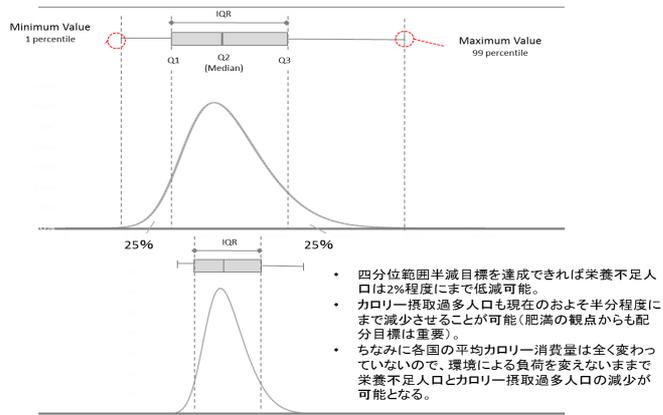
# 持続可能な開発のための教育 (ESD) の モニタリング指標の提案



\*項目1-3 はPISA指標、項目4 はICCS指標、項目5-9はUNICE指標を参考に作成

過剰と不足の二重苦 (double burden)の問題

四分位範囲 (IQR) 半減のイメージ



0-5歳児の肥満人口の推移(単位100万人)

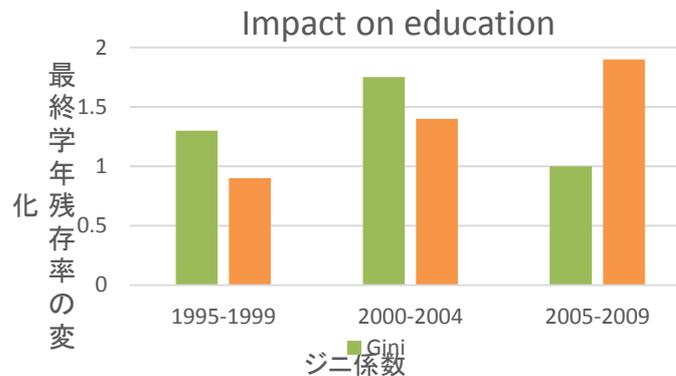
	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
開発途上国	20.7	22.4	25.0	28.9	34.7	42.0	49.9
先進国	6.2	6.3	6.4	7.1	8.1	8.8	9.5

2.4倍 (開発途上国)

1.5倍 (先進国)

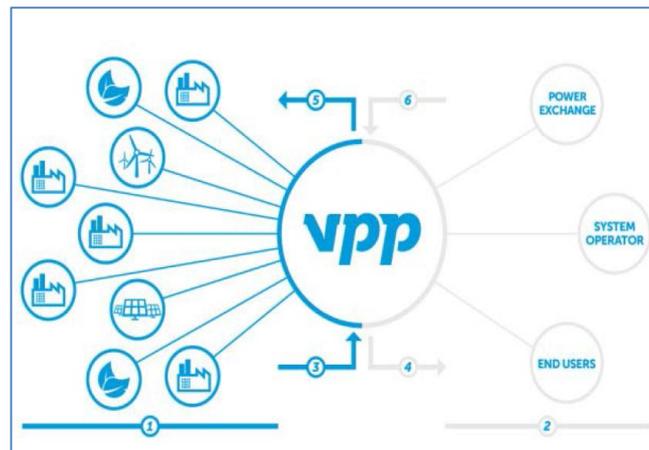
DE ONIS, M., BLOSSNER, M. & BORGHI, E. 2010. Global prevalence and trends of overweight and obesity among preschool children. *Am J Clin Nutr*, 92, 1257-64

不平等の指標である「ジニ係数」による、教育・保健に関連する指標への影響



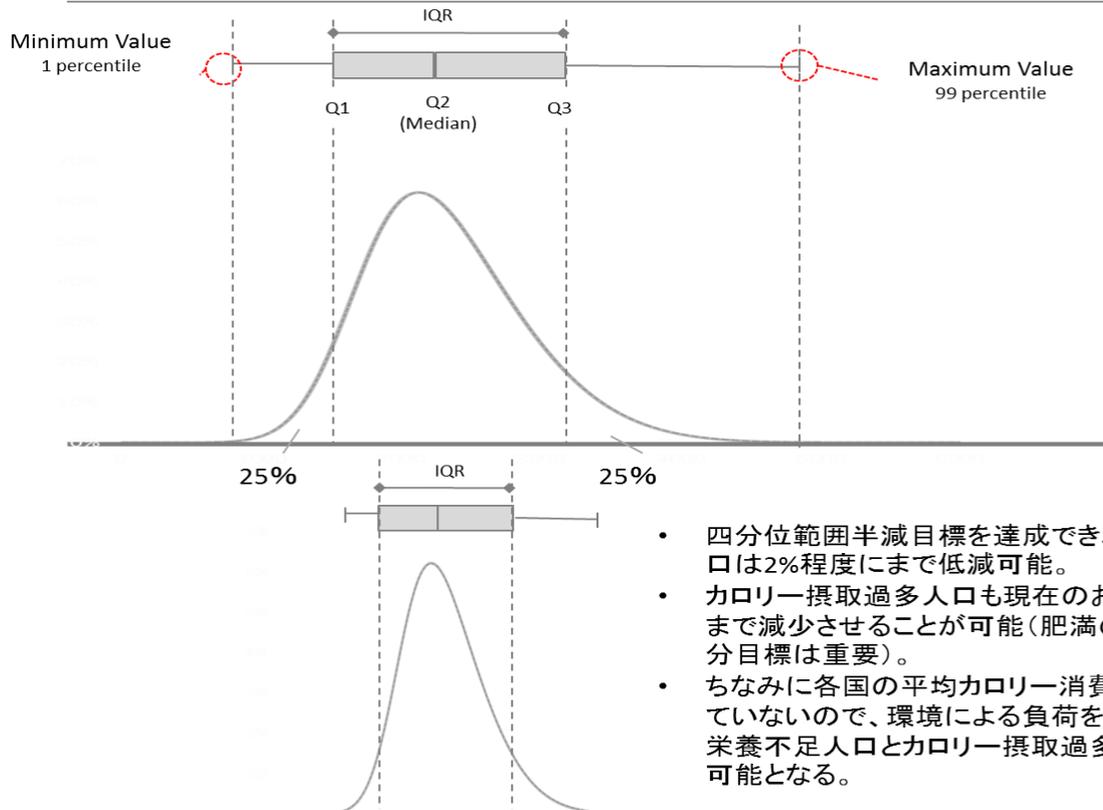
環境・資源

多様なエネルギー資源を持つ複数地域のネットワーク化を通じたグローバル・エネルギー・ガバナンスの構築



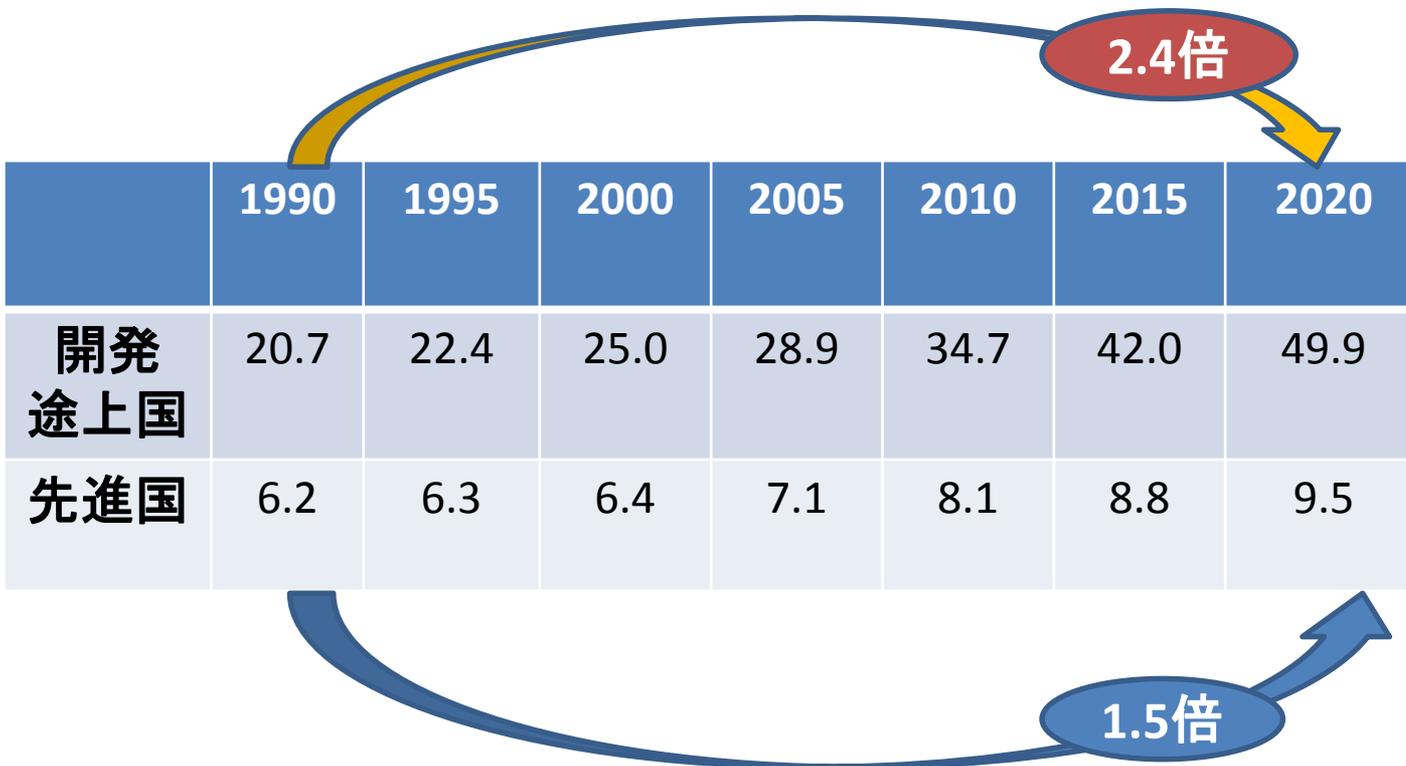
## 栄養不足人口とカロリー摂取過多人口のバランス

### 四分位範囲 (IQR) 半減のイメージ

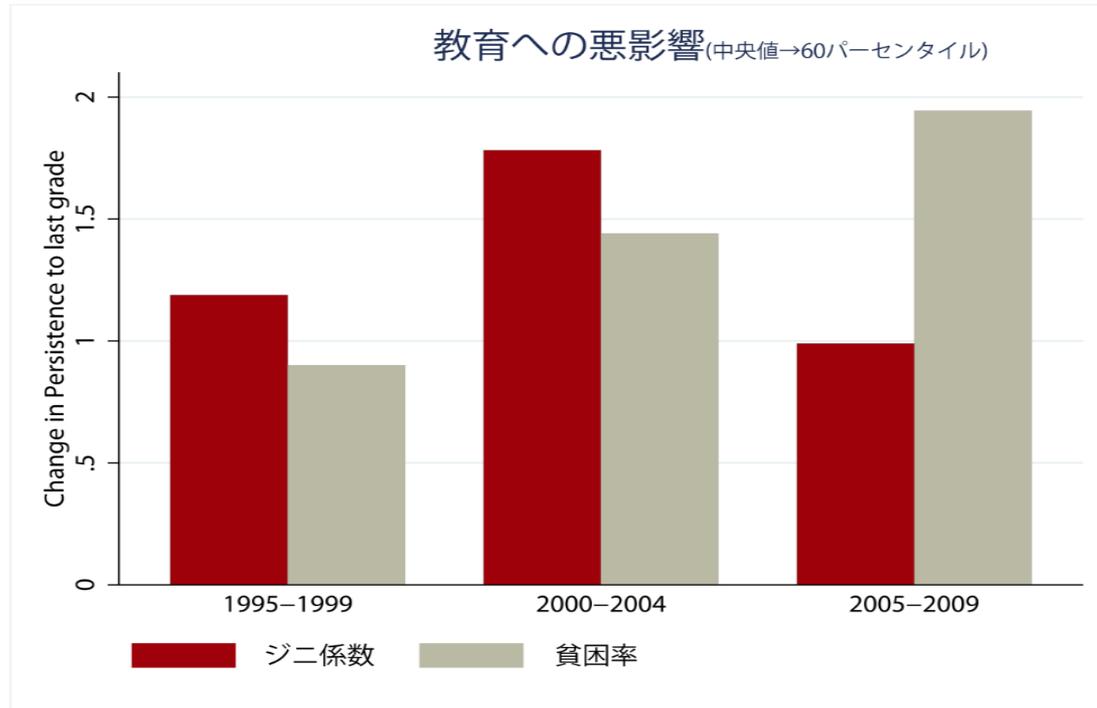


- 四分位範囲半減目標を達成できれば栄養不足人口は2%程度にまで低減可能。
- カロリー摂取過多人口も現在のおよそ半分程度にまで減少させることが可能(肥満の観点からも配分目標は重要)。
- ちなみに各国の平均カロリー消費量は全く変わっていないので、環境による負荷を変えないままで栄養不足人口とカロリー摂取過多人口の減少が可能となる。

# 0-5歳児の肥満人口の推移(単位100万人)

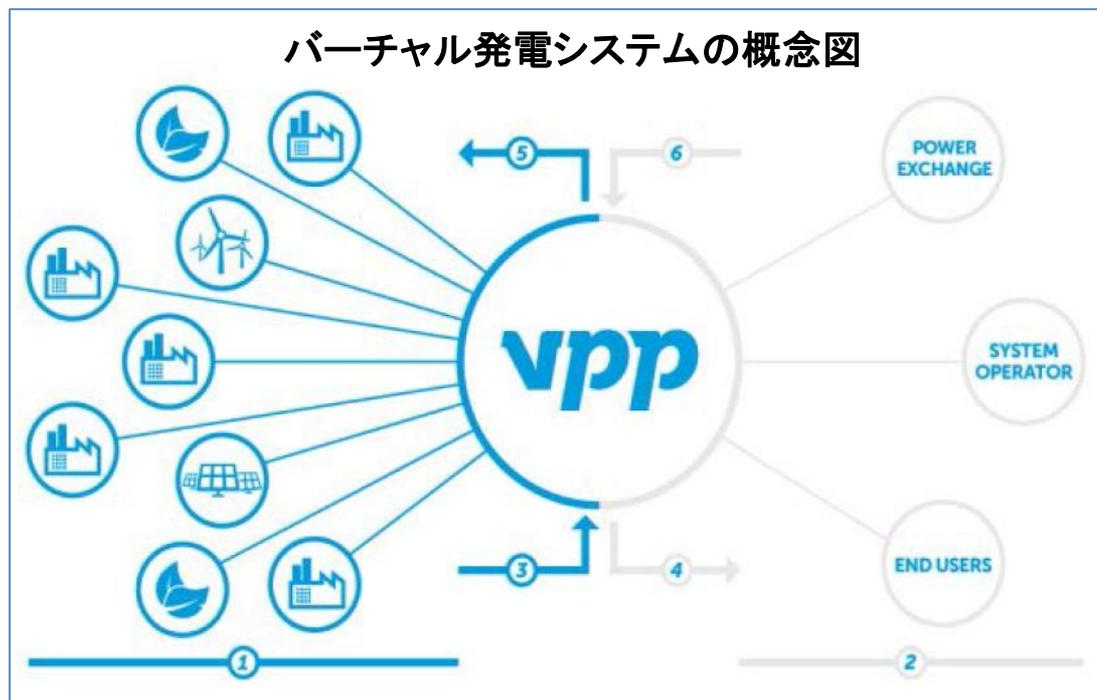


## 「ジニ係数」による、教育に関連する指標への影響



- 貧困半減にもかかわらず多くの国で格差は改善していない
- 不平等は貧困と同じ程度、教育の目標(MDG 2)達成を遅らせる

多様なエネルギー資源を持つ複数地域のネットワーク化を通じた  
グローバル・エネルギー・ガバナンスの構築が重要



- 国際レベルにおいて、複数地域間で貿易を通じて多様なエネルギー資源を適切に取引することにより、リスクを分散し、安定化機能を引き出すことが可能になる。
- 情報分野におけるクラウド・コンピューティングに対応して、エネルギー分野において、グローバル・レベルでバーチャル発電所を形成することに相当